

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	人文社会特論H		
英文授業科目名	Researches in Humanities and Social Sciences H		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	執行 一利 (学内連絡教官 島内 景二)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
日本とは異質の文化や社会を「知る」ための考え方を学ぶ。我々は無意識のうちに自己の文化の尺度を基準にして異文化を理解することが多い。そこで、「人間の単一性、文化の多様性」を標榜する文化人類学的視角から人間の文化を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的としたい。

【前もって履修しておくべき科目】
文化人類学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書は用いないが、参考書は授業の中で多数紹介してゆく。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

家族・親族と政治組織をテーマとして講述する。裁判所や政治機構の存在しない小規模社会における政治組織の仕組みはどのようになっているのだろうか。授業では、具体的に民族誌の中からいくつかの社会の実例を紹介し、親族の役割の重要性を指摘する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

定期試験の成績、小レポート、出席状況などを勘案して総合評価の予定。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

常時の出席と授業への積極的な参加を求めます。

【その他】